※令和３年度以前入学生用

学校番号	3021

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習する。
・　表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して自分なりの感じ方や見方、表現を求めていき、違った価値や見方を「鑑賞」で共有し深めていく。

２　学習の到達目標

・美術の幅広い創造活動を通して、美的感覚を洗練させ表現と鑑賞の能力を高める。
・美術についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心を育てる。
・創作表現への苦手意識を取り除き、表現の楽しさや美術を理解しようとする柔軟な感性を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中に作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術とは・ドローイング	(鑑賞)(絵画) ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術１」の学習イメージを持つ。 ・ドローイング テーマ表から9つを選び、各自のイメージでドローイングを行う。	○ ○	 ○	 ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:選択した各テーマにオリジナリティある自分なりのイメージを表現できている。 色ペンの美しい発色を生かしながら、のびのびと色彩表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	色彩構成	(デザイン) ・色彩基礎 ・色彩構成 「動物」 画用紙にポスターカラー絵の具で着色する。 色についての基本的要素を学び(3原色の知識など)、動物をモチーフに、構成・配色(明度・彩度)等を工夫し表現する。	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		a:色についての知識を知り、形や色彩などの働きや特性を理解し興味を持つ。 b:作品になりうる動物の形や配色を考えて、自分の感じる色の特性を生かし自己表現としての色彩の関わりを知る。 c:混色方法や配色などポスターカラーで美しい彩色方法を表現している。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品
	鑑賞	(鑑賞) ・アニメーション 加藤久仁生作品 「つみきのいえ」 ・鑑賞レポート提出	○ ○			○ ○	a:プロのアニメーション作家の作品を鑑賞して、多様なアニメ表現に関心を持ち、感性を広げてもらう。 d:作者の意図する技法や心情を読み取り、各自で理解を深めてもらう。	鑑賞ワークシート

※令和３年度以前入学生用

2学期	パターンデザイン	(デザイン) ・包装紙のデザイン ゴム版画の作品集のカバーにする。 ・消ゴムスタンプを使ってパターンデザインを理解して表現させる。	○ ○	○ ○	 ○		a:テキスタイルデザインなどの布デザインに使用される繰り返しパターンを理解して１枚の作品にする。 b:１版の制約がある中で個性ある表現をする。	アイデアスケッチ 作品
	ゴム版画で表す	(絵画)(デザイン) ・ゴム版画による1版刷による版画で、アンディ・ウォーホルを作品例にポートレートをテーマにデザインを考える。 ・ゴム板に原画を転写し、彫刻刀で彫っていく。 ・1版1色刷りで2パターンの作品を刷り上げる ・消ゴムハンコで作った包装紙を使った冊子を製本し、そこに2点の版画作品を貼り付けて仕上げる。	○ ○ ○ ○	○	 ○ ○ ○		a:日常にあるイメージを大量生産できる版画表現というものに興味関心を持ち、意欲的に制作できている。 b: ポートレートをテーマに自己表現として人物・キャラクターをデザインとして表現する。 c:的確な彫刻刀の作業により丁寧に版画工程をこなす。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	彫刻的なバターナイフ	(彫刻)(デザイン) ・実用性も意識した手に馴染むバターナイフの制作。 ・規定サイズ内でナイフのデザイン画を描く。 ・桧板にデザイン画を転写し、電動糸鋸で荒取りしたのち、小刀を使い形を整えていく。 ・紙ヤスリを番手にかけていき(120・240・320)仕上げに乾性油をぬる。	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○		a:彫刻の表現を知り、意欲的に作業を行い工程を学ぶ。 b:バターナイフという日用品の機能や美しさを考え、実用性もある個性的なデザインを造形で表現する。 c:電動糸鋸・小刀の使用技術を駆使し、数種の紙ヤスリで綺麗な仕上げができている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※令和３年度以前入学生用

３学期	フリップブック	（映像メディア表現） ・自らテーマを設定し、24 コマで展開するアニメーションを考える。 ・アイデアスケッチ ラフ絵コンテ ・下書き 清書（上質紙に転写する） ペン入れ ・製本	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○		a：動画表現について興味を持ち、理解しようとし積極的に制作に取り組んでいる。 b：想像力を働かせ豊かな発想で独創的な動画表現の構想を練っている。 c：作品制作を通して動画の仕組みや制作の技能を習得し、工夫しながら自分なりの表現をしている。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
　　c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。